

オリーブボックスについて

～避難所開設編～



鈴鹿市防災危機管理課

目次

- ▶ オリーブボックスとは
- ▶ どこにある？
- ▶ 開けると・・・
- ▶ 開設をはじめる前に (①～⑨)
- ▶ 「避難所開設までの流れ」 (1～4)
- ▶ 「各手順書の進め方」 (1～5)
- ▶ オリーブボックスまとめ
- ▶ おわりに

オリーブボックスとは



- ▶ 避難所の開設・運営に必要な資機材が入っています。
- ▶ 初めて見る方でも対応できるように、手順書も一緒に入っています。

どこにある？

- ▶ **市内の基幹収容避難所（41か所）の防災倉庫に入っています。**

※基幹収容避難所＝市内小中学校(40) + 鈴鹿市武道館(1)

→避難所に到着された方が防災倉庫を開けて、オリーブボックスを運び出すことが最初の作業になります。

開けると・・・

- ▶ フタを開けると、

**「このボックスを開けたあなたが
手順書に従って避難所を開設してください。」**

と書かれた赤い紙が出てきます。

- ▶ 率先して避難所の開設をしようとする人は少ない。

しかし、誰かが始めないと、いつまでも避難所が開設されない。

→ボックスを開けた人がメインとなって、開設を行う
(1人で行うわけではない！開設はみんなで！)

開設をはじめる前に (手順①～⑧)

- ▶ 「初めに読んでください」と書かれた紙が出てきます。①～⑧の手順に沿って行動してください。
- ▶ **重要**：必ず1つ1つ順番に読んで進めてください

①～⑧の手順 (次ページから)

① 「これから避難所の開設準備を行います」

- ▶ 市職員は、避難者の方よりも避難所へ到着するのがどうしても遅くなるため、避難者の方で避難所を開設してもらう必要があります。
- ▶ 手順書どおりに行えば避難所開設できます！
オリーブボックスを防災倉庫の前に置きましょう。

② 「人数が集まるまで待機」

- ▶ 少人数では開設準備ができないので、5~6人が集まるまで待機しましょう。

③ 「サポートする人を決めましょう」

- ▶ 先ほどフタを開けた人は「リーダー」
- ▶ リーダーをサポートする人は「サブリーダー」
- ▶ 2人はピンクのビブスを着てください。



④ 「サブリーダーは進捗状況を確認します」

- ▶ サブリーダーは
「全体行動確認表」に基づいて進捗を管理する。

全体行動確認表：これから行う開設手順が載っている。

手順が完了したらその都度チェックを入れる。



⑤ 「リーダーは指示を出します」

- ▶ 「指示があるまでこの紙を外さないこと」の紙を外して、
「手順書ケース」を取り出す。（ケースは開けない！）



⑥ 「リーダー、サブリーダーは動かない」

- ▶ リーダー：指示を出す
- ▶ サブリーダー：報告を受ける、全体を管理する

オリーブボックスの
近くで待機する！

→動いてもらうのは、協力してもらう避難者の方々

⑦ 「指示を受けた人は必ず報告を」

- ▶ リーダーは、指示を出す際に、
「作業が完了したら、サブリーダーに報告してください」
と必ず伝えてください。
- ▶ サブリーダーは、報告を受けた内容を「全体行動確認表」で
チェックしてください。



⑧ 「ケガ人等の対応は優先的に対応を」

- ▶ 避難所を開設することは大切ですが、
ケガ人の対応等、優先して行わなければならないことは、
臨機応変に対応してください。

その際は、備蓄倉庫にあるものを使用してください。

⑨ 「それでは始めます」

▶ これから、リーダーは先ほど⑤で取り出した手順書ケースを開き、「避難所開設までの流れ」を取り出して作業を進めていきます。

「避難所開設までの流れ」に続く



「避難所開設までの流れ」

- ▶ リーダーとサブリーダーは、開設までの大まかな**4つ**の流れを確認しましょう
 1. 「避難所を開設するための準備をします」
 2. 「避難所が安全かどうか確認します」
 3. 「避難所に入る人の受付をします」
 4. 「避難所を運営していく組織を立ち上げます」
- ▶ その後、「**各手順書の進め方**」を読んで、**各手順全体**の流れを確認しましょう。

「**各手順書の進め方**」に続く

「各手順書の進め方」（1～5）

1. リーダーは集まった避難者に対し次の3つのことを行ってください。

- ①体育館や校舎は地震で危険な状態にある可能性があるため、指示があるまでは建物に入らないこと。
- ②指示があるまでは、防災倉庫から物資を取り出さないこと。
- ③指示があるまでは、オリーブボックスに触れないこと。

2. リーダー、サブリーダーは「全体行動確認表」を読み全体の流れを確認してください。

3. リーダーは「全体行動確認表」に沿って、手順書のケースから手順書を順番に取り出して、集まった避難者に手順書を渡し、指示してください。

4. リーダーは手順書を渡した避難者に、「内容が完了したらサブリーダーに報告すること」を伝えてください。

5. サブリーダーは手順書の内容が完了したと報告を受けたら「全体行動確認表」にチェックを入れて完了した手順書を回収してください。

【ポイント】
▼作業をする人はリーダーの指示を聞いてから行動する。
▼作業をする人はサブリーダーに報告をする。

「各手順書の進め方」（1～5） を確認出来たら・・・

- ▶ 「全体行動確認表」に沿って、作業を進めていく。

どんな手順で進める？



手順書をNo1から順番に進めていく

- ▶ No.1～3までを進める。
- ▶ No.4 「避難所の安全点検」 を行う。
 - ↓ 避難所が安全に開設できると判定されれば
- ▶ No.5～6を進める。
- ▶ No.7～8に進む。
- ▶ No.8が完了したら、 **避難所開設は完了です。**
(そこからは、避難所運営に進みます。)

手順書 No1

作業人数：1～2人
この手順書を作業する避難者に渡してください

備品を準備する

下記の備品を探してください

防災倉庫内

感染症対策として自由に使ってください



クリアボックス
(感染症対策用品)

備品が見つかったら防災倉庫の前に運び出してください

作業が終わったらリーダーに作業の完了を報告し、
この作業手順書をサブリーダーに渡してください。

その後、リーダーからの指示があるまで待機してください

掲示物を貼り付ける

校舎、体育館等の安全が確認できるまで
避難者を建物内に入れないようにするための掲示物です

下記の掲示物と道具を用意してください

掲示物と道具

手順書No2にクリップで留めてあります



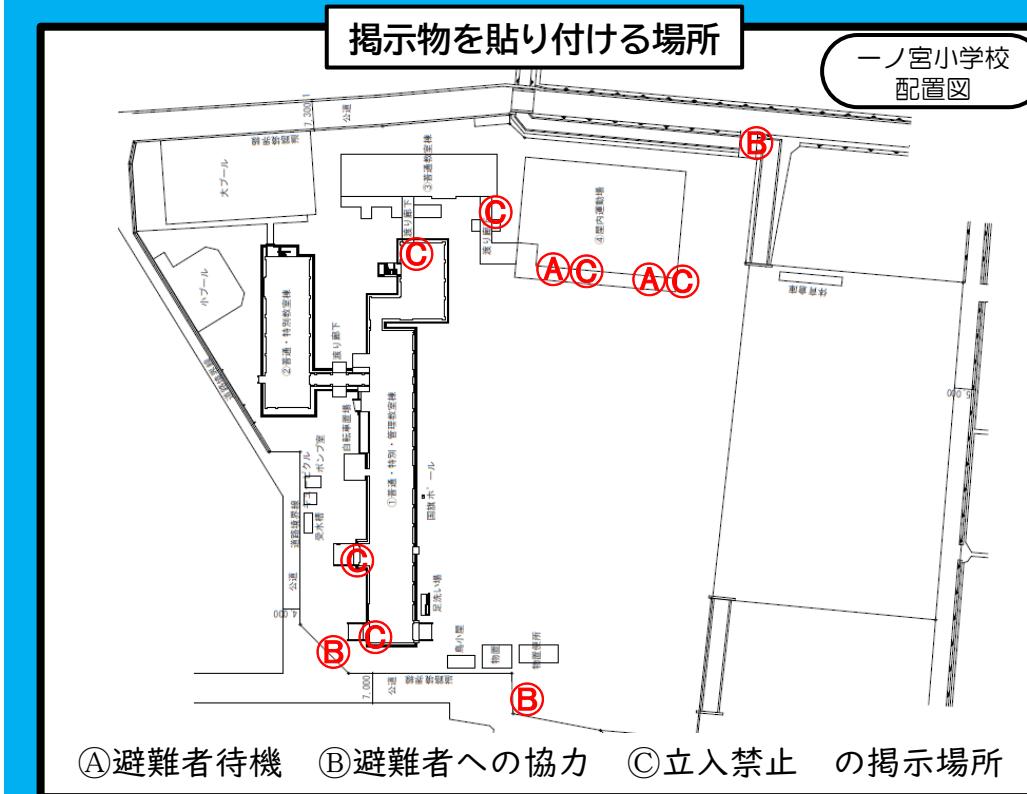
養生テープ 1
巻

オリーブボックスに入っています

手順書 No2 (裏面)

掲示物を粘着テープで貼り付けてください

場所：校舎入口、体育館入口、学校の門



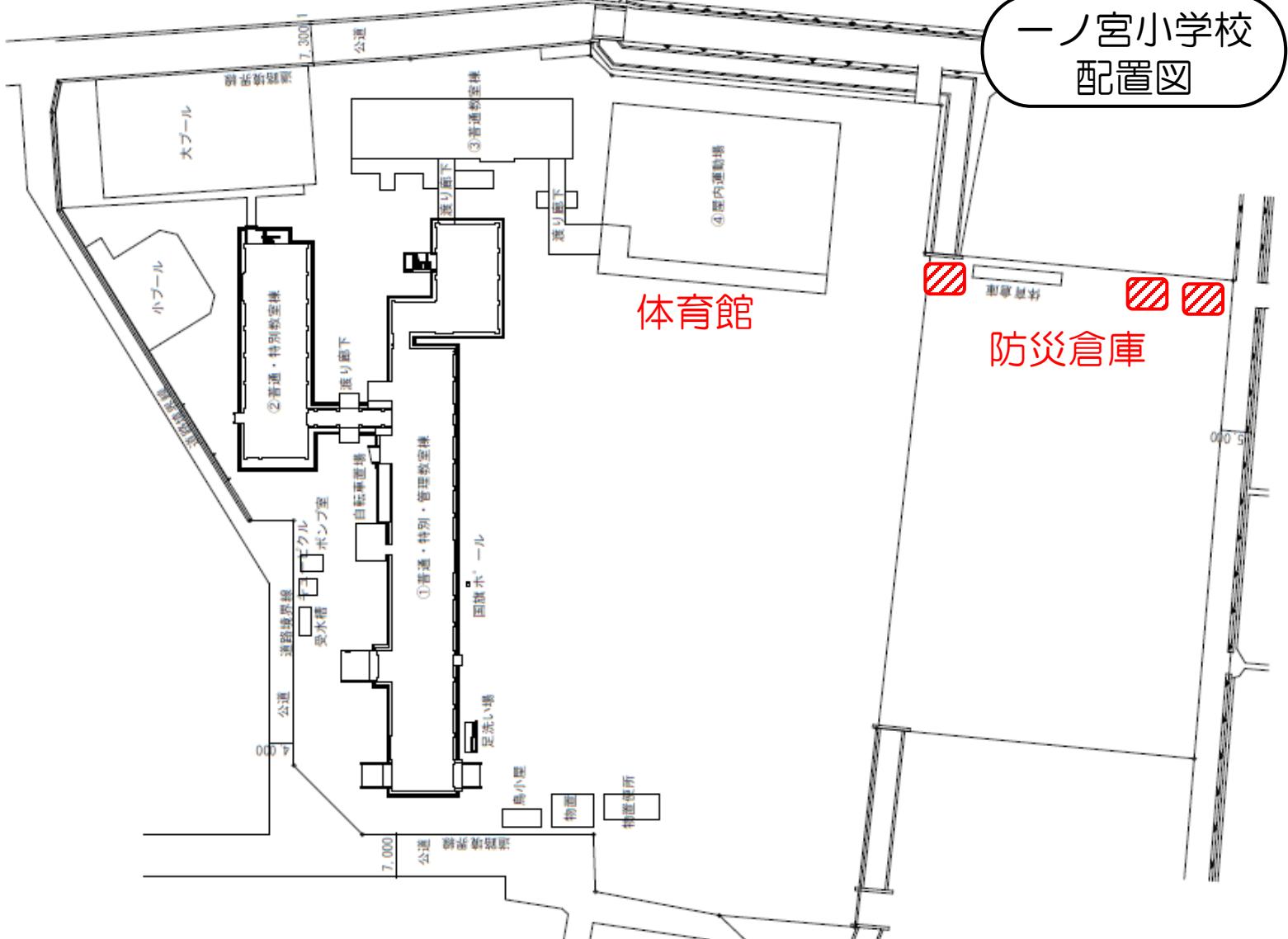
作業が終わったらリーダーに作業の完了を報告し、
この作業手順書をサブリーダーに渡してください
使った養生テープはオリーブボックスに収納してください
その後、リーダーからの指示があるまで待機してください

避難所（体育館）は
施設の安全が確認され
受付の準備が整い次第
開設します。

開設できるまで
学校のグラウンドで
お待ちください
ご協力をお願いします

避難者が主体で避難所
の開設を行います
ご協力いただける方は
防災倉庫か体育館前にいる
ビブスを着た人の所に
集まってください

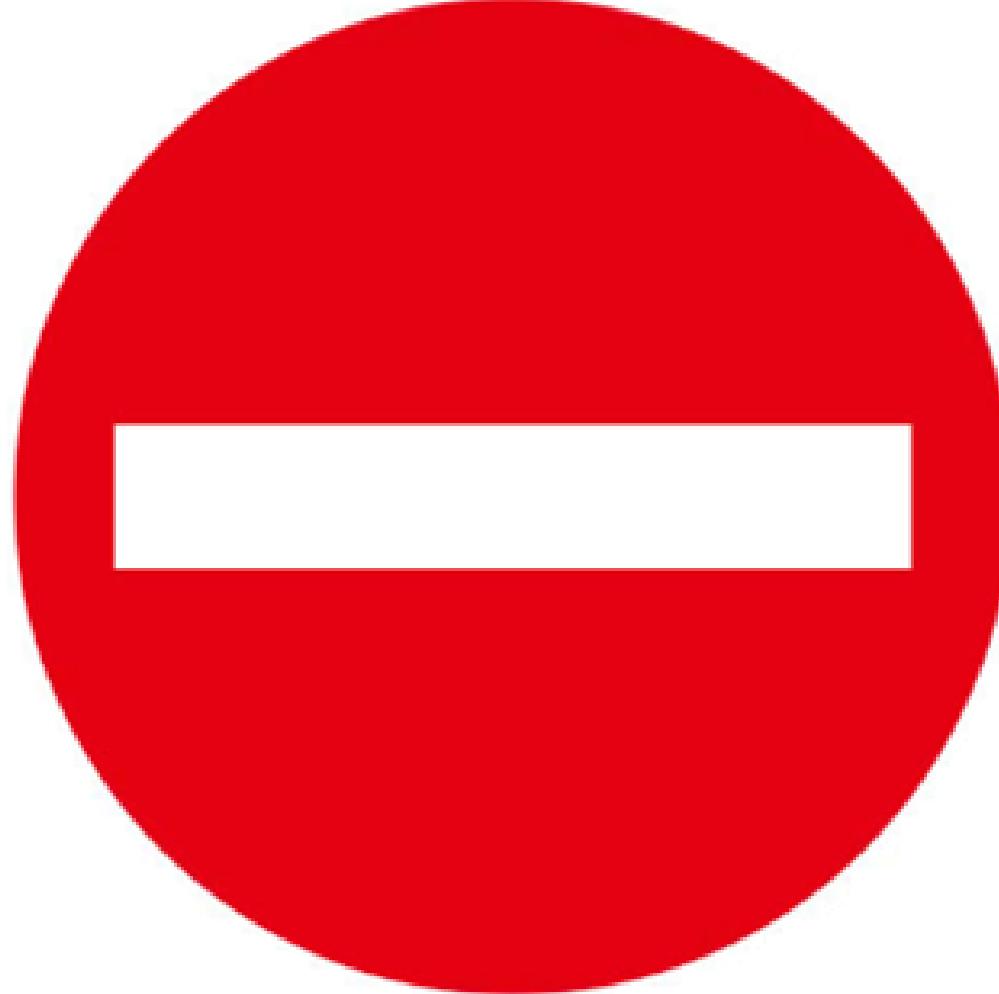
一ノ宮小学校
配置図



©立入禁止

KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT

立入禁止



建物の安全が確認できるまで入れません

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

避難者への呼びかけ

施設に避難してくる人や既に施設に避難している人へ
呼びかけを行ってください

避難者への呼びかけの例

「ただいま避難所の開設準備をしています。
あわてずにグラウンドに移動してください」

既に体育館へ避難・利用している人がいる場合は、
安全が確認できていないので必ず外に出てもらう

「建物の安全が確認できるまで
絶対に建物に入らないでください。
安全が確認出来たら避難所を開設します。」

「私たちも被災者です。
避難所の開設準備を手伝ってくれる方は
防災倉庫の前に集まってください。」

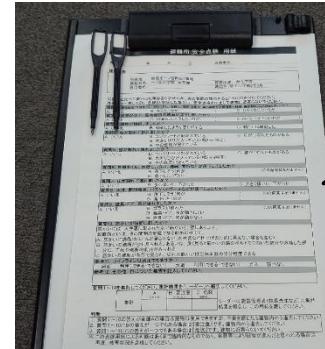
避難所の安全点検が終了後、リーダーが避難者を集合させます
その集合の合図を持って呼びかけが終了となります
(それまで呼びかけを続けてください)
終了したら、この作業手順書をサブリーダーに渡してください。

避難所 安全点検

体育館（避難所）が安全であるか確認するため
安全点検用紙に従って建物の安全点検を行います
とても重要な作業ですので協力して行ってください

下記道具を用意してください

手順書と道具



バインダー・安全点検用紙・鉛筆

- ・安全点検用紙
 - ・安全点検用紙記入例
 - ・鉛筆
- バインダーにセットしてあります



コンベックス

オリーブボックスの中に入っています

裏面へ

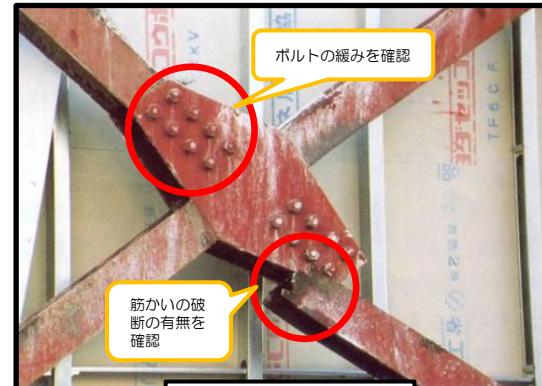
手順書 No4（裏面）

【注意事項】

- ・遠くから見て明らかに危険な場合は点検を中止してください
- ・建物の中が明らかに危険な場合は点検を中止してください
- ・点検は複数人の目で確認し、話し合って記入してください
- ・判断に困った場合は応援を呼び、みんなで決めてください

点検の風景(参考)

避難所安全点検用紙に従つ
て
安全点検を行ってください



作業が終わったらリーダーに点検結果を報告（A、B、C）し、
この手順書と安全点検用紙をサブリーダーに渡してください。
使ったバインダーとコンベックスはオリーブボックスに収納
してください。
その後、リーダーからの指示があるまで待機してください。

避難所 安全点検 用紙

点検日: 年 月 日 点検者名:

建物概要

所在地: 鈴鹿市東旭が丘五丁目3番18号
 建物名称: 旭が丘小学校 体育館 建物用途: 市立学校
 管理者名: 建設年(竣工): 平成14年4月

災害前と比べて変わった事はありませんか。次の質問の該当するところに○を付けてください。
 外部から一見して『C. 危険』と判定した場合は、安全点検を中止して建物に近寄らないでください。

質問1. 建物周辺に地すべりがすべり、地割れ、噴砂、液状化、隣の建物が避難所側へ傾斜、擁壁割れなどが生じましたか?

A. いいえ B. 生じた(何が:) C. ひどく生じた(何が:)

質問2. 建物が沈下、建物周辺の地面が沈下しましたか?

A. いいえ B. 10cm以上沈下した(何が:) C. 20cm以上沈下した(何が:)

質問3. 建物が傾斜しましたか?

A. いいえ B. 傾斜したような感じがする C. 明らかに傾斜した

質問4. 柱が割れて折れましたか?

A. いいえ B. コンクリートが剥がれている C. 柱がつぶれたものがある
 B. 大きなひびが入っている(幅2mm程度)
 B. 中の鉄筋が見えている

質問5. 壁が割れて壊れましたか?

A. いいえ B. コンクリートが剥がれている C. 壁がくずれたものがある
 B. 大きなひびが入っている(幅2mm程度)
 B. 中の鉄筋が見えている

質問6. 外壁タイル、外壁モルタル、機器、看板などが落下しましたか?

A. いいえ B. 落下しそう(何が:) (Cの解答はありません)
 B. 落下した(何が:)



質問7. 床が割れて壊れましたか?

A. いいえ B. 少し傾いた、下がった C. 大きく傾いた、下がった

質問8. 天井、照明器具、バスケットゴールなどが落下しましたか?

A. いいえ B. 落下しそう(何が:) (Cの解答はありません)
 B. 落下した(何が:)

質問9. 建具・ドア、窓が壊れましたか?

A. いいえ B. ガラスが割れた (Cの解答はありません)
 B. 建具・ドア、窓が動きにくい
 B. 建具・ドア、窓が動かない

質問10. 筋かいが破断しましたか?

筋かいには、天井裏に配された水平筋かいと、壁にあります。

鉛直筋かいは、窓の開閉の邪魔になる斜めの材です。

A. 筋かいに損傷はほとんど見られない(内外装など仕上げのために見えない場合も含む)

B. 筋かいの破断が少し見られる。あるいは、良く見ると筋かいの端のボルトでつないだ部分や溶接した部分に、ずれや破断の兆兆がみられる

C. 筋かいの破断が各所で見られ、切れた筋かいは全体本数の半分程度である

参考11. ライフラインは利用できますか?

照明 利用(できる・できない) 水道 利用(できる・できない) ガス 利用(できる・できない)

参考12. その他、目に付いた被害を記入してください。

質問1~10を集計してください。集計結果を「リーダー」へ報告してください。

	A 使用可能	B 要注意 使用しない	C 危険 使用禁止	
集計				リーダーは施設管理者(校長先生など)に集計結果を報告し、この用紙を演してください。

判断

- 質問1~10の答えが全部Aの場合は建物は使用できますが、不安を感じたら建物内から退去してください。
- 質問1~10にBの答えが一つでもある場合は『要注意』です。建物内から退去してください。
- 質問1~10にCの答えが一つでもある場合は『危険』です。建物に近寄らないでください。

※この点検用紙による判断はあくまで臨時的なものであり、余震等により被害が進んだと思われる場合は再度、被害状況を点検してください。

■避難所安全点検の結果が
【A】の場合は
この下の手順書（No5）に
進んでください

■避難所安全点検の結果が
【B】【C】の場合は
「避難所開設不可」の
ケースを開けてください

この避難所から移動する

この避難所は危険のため開設できません
よって、別の避難所へ移動します。
この作業はリーダーとサブリーダーで行ってください
使用する道具は避難所開設不可のケースに入っています

- ①校長先生等がいる場合、結果を報告する
- ②この学校にいる避難者を全員集める
- ③点検結果により “避難所が使えない” ことを伝える
- ④「避難所一覧」を見て避難する先をみんなで決める
- ⑤避難先を決めたら「①避難所開設不可」の掲示物に
避難先を鉛筆で記入する
- ⑥「①避難所開設不可」と「②立入禁止」を所定の
位置（裏面に記載）に貼り付ける
- ⑦最初に貼り付けた掲示物は全剥がしてオリーブ
ボックスに入れる
- ⑧全て完了したら**避難所安全点検用紙**をオリーブボック
スに入れた後、防災倉庫に収納し、倉庫にカギを
差したまま別の避難先に移動してください

【手順書】避難所開設不可（裏面）

掲示物を粘着テープで貼り付けてください

場所：校舎入口、体育館入口、学校の門



これでリーダー、サブリーダーの役割は終わりです。
避難先では避難所開設・運営のご協力をお願いします

避難所が
危険なため
使用できません

避難してきた人は
別の避難所の

避難先を記入



避難しました

②立入禁止

KEEP OUT **KEEP OUT** **KEEP OUT**

この避難所は**危険**なため**開設できません**
建物に絶対に近づかないでください

立入禁止



KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

役割の編成

これから避難所を開設するための役割を決めます。
この手順書の作業はリーダーとサブリーダーで行ってください
まず下記の手順を読み、流れを把握してから作業し始めること

- ①リーダーとサブリーダーはオリーブボックスとクリアボックスを体育館入口前に持っていく
- ②この学校にいる避難者を全員体育館入口前に集める
- ③点検結果により“避難所が使える”ことを伝える
- ④避難所を開設するには「受付」「誘導」「区割」の3種類の役割があることを伝える
- ⑤「受付」は避難者の受付をする役割
「誘導」は避難者を所定の位置に誘導する役割
「区割」は避難所のスペースを区切る役割
- ⑥この役割を引き受けてくれる避難者を決める
「受付」4人以上、「誘導」3人以上、「区割」5人以上
※人数は目安です。集まった人に応じて調整してください
決まったらそれぞれの役割に分かれて集合させる
- ⑦役割にあたっていない避難者へ避難所の開設準備が整うまで、体育館入口前で待機するように伝える

手順書 No5 (裏面)



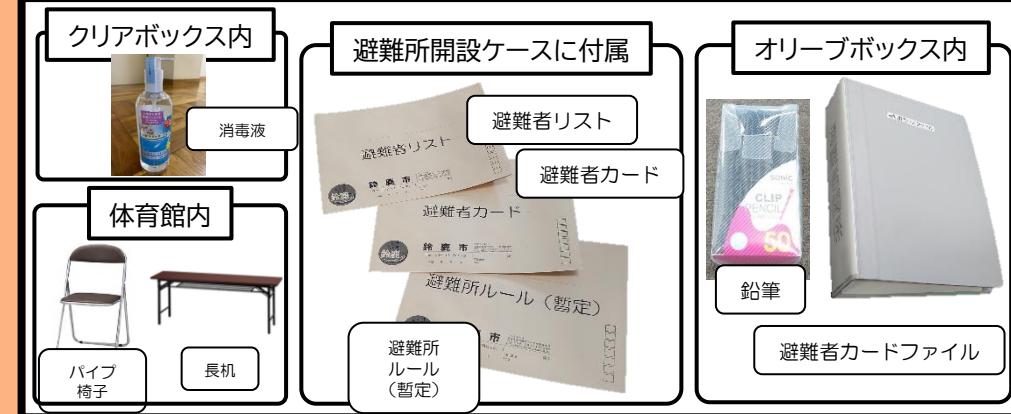
- ⑧リーダーはオリーブボックス内にある避難所開設のケースを用意する
- ⑨リーダーは避難所開設のケースを開け、受付、誘導区割の人に各手順書を手渡す
- ⑩リーダーはオリーブボックスから「養生テープ1個」と「手順書のケース」をサブリーダーに渡す
- ⑪受付、誘導、区割の人はオリーブボックスとクリアボックスを避難所内のステージの上に運び入れる
- ⑫受付、誘導、区割の人は手順書を読み、作業する

～避難所開設の簡単な流れ～

- ・受付は受付準備が終わり次第、避難者を避難所へ受け入れる
 - ・誘導は避難者を整列させ、受付の準備ができたら受付した人を指定の場所へ誘導させる
 - ・区割は避難スペースを区切る
※区割が完成していなくても避難所への受入を優先する
- ★受付から受付開始の報告を受けたらリーダーは手順書No.6を読み、手順書に書かれた作業をしてください

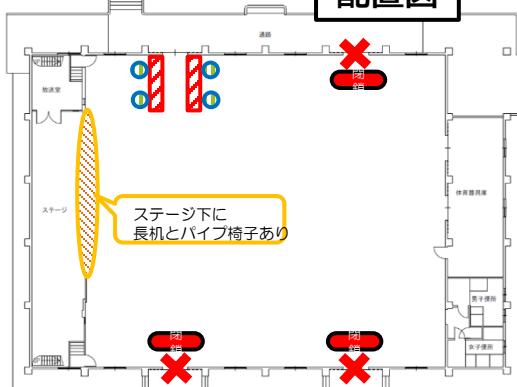
受付準備

下記の道具を用意してください



配置図を参考に道具を配置してください

配置図



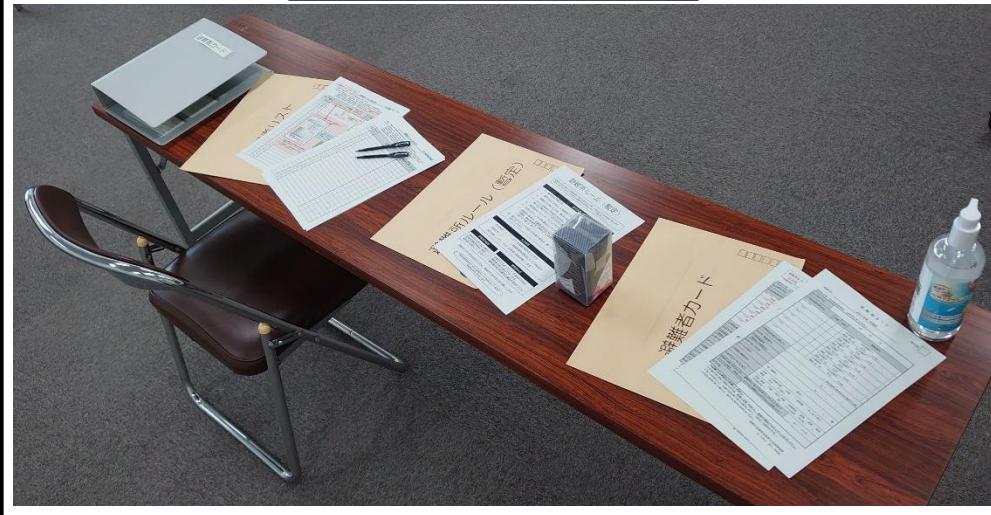
- 長机の上に
- ・鉛筆
 - ・避難者カード
 - ・避難者リスト
 - ・避難所ルール（暫定）
 - ・消毒液
 - ・避難者カードファイル

「誘導」の人の準備が終われば
受付準備の応援に来てもらいます

裏面へ

手順書 受付①（裏面）

受付の配置 風景(参考)



受付の役割の人は2チームに分かれてください

- ・受付する前に避難者の体調確認する人→**Aチーム**（2名以上）
- ・避難所の受付を処理する人→**Bチーム**（2名以上）
※Aチームの役割は感染症対策として避難所内クラスターを防止するためです

2チームに分かれたら

Aチームは「手順書 受付②A体調聞取」を読んでください
Bチームは「手順書 受付②B受付方法」を読んでください

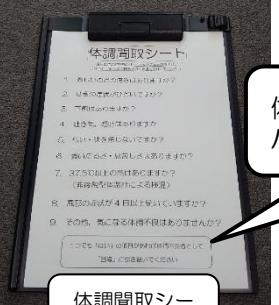
Aチーム、Bチーム共、手順書をそれぞれ読み終えたら、
「誘導」と「区割」の人に**避難所の受付を開始することを伝え**
避難所の受付を開始してください

避難所に入所しないが、物資を貰いに来た人も受付は必要です

体調聞取

用意した下記の道具を使います

道具(オリーブボックス内)



体調聞取シートは
バインダーにセットしてあります

体調聞取シート

道具(クリアボックス内)



非接触体温計

裏面を読み、体調聞取の流れがわかったら、
Bチームに準備ができたことを伝えてください。

裏面へ

■体調聞取を開始する前に■

- ①「体調聞取シート」を読んで、やることを把握する
- ②「バインダー」に「体調聞取シート」をセットし
「非接触型体温計」を持つ

■体調聞取の流れ■

- ③「誘導」が避難者をある程度整列させるのを待つ
- ④「誘導」が整列させた避難者から順番に体調を聞き取る
- ⑤体調聞取が終わり、体調に問題なければ避難所の受付を受けてもらう
- ⑥体調不良の人は避難所内クラスターを防止するため
近くの「誘導」の人に体調不良者であることを伝えて、
専用の体調不良者スペースに誘導してもらってください
この作業を入所する避難者が落ち着くまで続けてください

受付方法

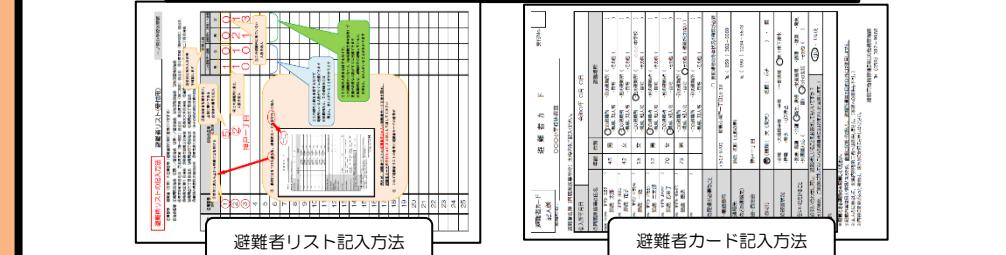
用意した下記の道具を使います

長机の上に置いてある道具



下記のマニュアルを用意してください

避難者リストの封筒・避難者カードの封筒内



裏面を読み、AチームとBチームの準備が整ったら
まずグラウンドにいるリーダーに受付を開始する報告をする
その後、「誘導」「区割」にも受付を開始する報告をし、
「整列中の避難者」に対して避難所の受付を開始することを
宣言し、避難所の受付を開始してください

手順書 受付②B（裏面）

■受付を開始する前に■

- ① 「避難者リスト記入方法」「避難者カード記入方法」を読んで、受付のやり方を把握する
- ② 受付の机に「鉛筆」「避難者カード」「避難者リスト」「消毒液」「避難者カードファイル」を設置する

■受付の流れ■

- ③避難者が受付に来る
- ④避難者に手指消毒をしてもらう
- ⑤受付リストに書く内容を避難者から聞いて記入する
※「避難者リスト記入方法」を確認してください
- ⑥避難者カードと鉛筆と避難所ルール（暫定）を避難者に渡す
- ⑦避難者に避難者カードの書き方を避難者に伝える
※「避難者カード記入方法」を確認してください
- ⑧その後、避難者はお住まいの地区的スペースに行ってもらう
※「誘導」がその場所まで誘導します
- ⑨避難者カードはお住まいの地区的スペースで記入してもらう
- ⑩避難者カードを書き終えたら避難者は避難者カードと鉛筆を受付に持ってきてもらう
- ⑪持ってきてもらった避難者カードは隨時、ファイルに綴じる

誘導方法

下記の道具を用意してください

道具(オリーブボックス内)



配置図を参考に道具を配置してください

配置図



誘導の役割の人は2つに分かれてください

- ・避難スペースに案内する人→「避難所内誘導」（2名以上）
- ・避難所入口で整列させる人→「避難所入口誘導」（2名以上）

手順書 誘導（裏面）

■避難所内誘導（2名以上）

誘導の準備が終わったら「受付」の準備を手伝ってください

受付準備が完了し、受付が開始されたら、受付を終えた避難者に対して、区割り場所（避難スペース）へ誘導してください。
※区割りが未完了の場合はおおよその位置に誘導してください

誘導した避難者に対して避難者カードを記入してもらい、**記入を終えた避難者カードと鉛筆は受付に渡す**よう伝えてください。

■避難所入口誘導（2名以上）

避難所入口にきた避難者を整列させてください。

また避難所内は土足禁止です。

感染症対策のため、ある程度離れての整列に努めてください。

原則ペットは避難所へ入れません ※盲導犬等は除く

ペットを連れた避難者の人がいたら避難所の外でケージ等にて飼育してもらうように伝えてください

受付から体調不良者の連絡があった場合は体調不良者スペースへ誘導してください

体調不良者スペース



※複数の体調不良者がいる場合は
間隔に注意してください

☆土足禁止

No shoes

No shoes

No shoes

土足禁止

★ペットの飼育について

ペットの 飼育について



(盲導犬・聴導犬・介助犬等の補助犬は除く)

ペットは避難所に入れません

(動物アレルギー等対策のため)

避難所（生活スペース）の外で、紐（リード）で
繋ぐかケージの中に入れて飼育してください



紐（リード）



ケージの中

区割方法

下記の道具を用意してください



■区割方法■



- ①裏面の「避難所レイアウト図」の寸法を参考に、マスキングテープを床に張り、区割り（スペースの確保）する。
- ②ステージ下の収納スペースからパイプ椅子を取り出し、区割名をイスにマスキングテープで貼り付け「区割看板」を作成
- ③区割作業中にも避難者は避難所に避難してくるので「誘導」が避難者を誘導できるように、まずはおおよその位置に区割名が書いてある「区割看板」を設置してください。

■効率の良い区割方法■

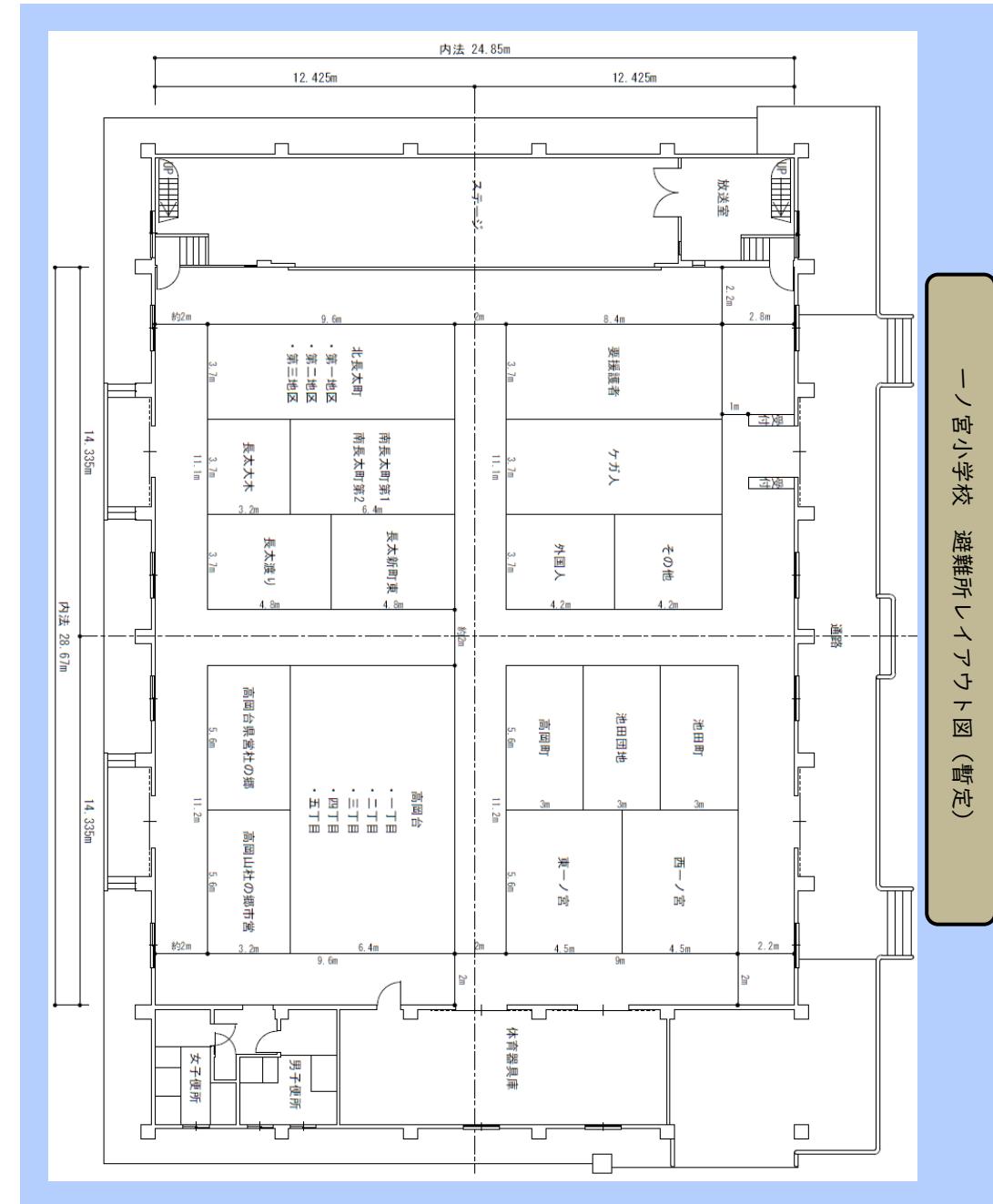
- ④大枠の角になるところを測定し、マスキングテープで印をつける
- ⑤全ての大枠の角が決まったらその印と印をマスキングテープで繋ぐ
- ⑥大枠の中にある枠の角を測定し、マスキングテープで印をつける
- ⑦その印と印をマスキングテープで繋ぐ

区割が終了したら使用した道具をオリーブボックスに収納し、「誘導」や「受付」の手伝いをしてください

裏面
へ

手順書 区割（裏面）

一ノ宮小学校 避難所レイアウト図（暫定）



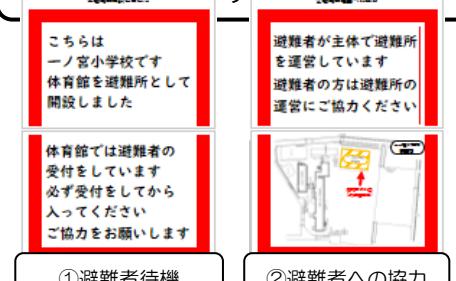
避難所受付開始

避難所の安全が確認され、受付が開始されたので
最初に貼った掲示物を更新します

下記の掲示物と道具を用意してください

掲示物と道具

手順書No6にクリップで留めてあります



養生テープ



手順書ケース

オリーブボックスから取り出されています

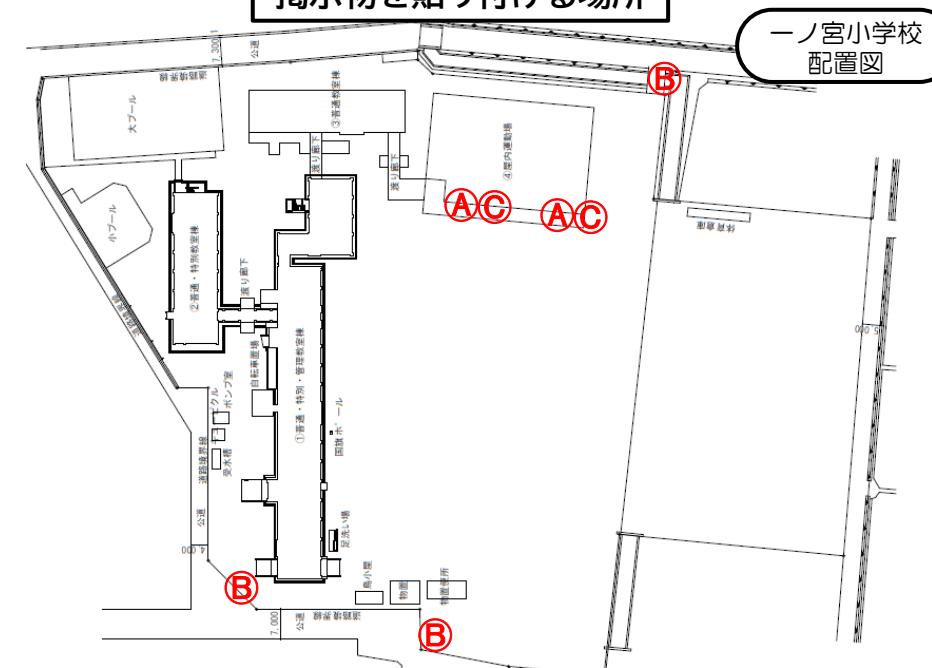
【手順書】避難所受付開始（裏面）

掲示物を粘着テープで貼り付けてください

場所：校舎入口、体育館入口、学校の門

掲示物を貼り付ける場所

一ノ宮小学校
配置図



「Ⓐ避難者待機」を剥がして「①避難所開設しました」を貼る。

「Ⓑ避難者への協力」を剥がして「②避難所運営への協力」を貼る

上記の「Ⓒ立入禁止」は剥がさず（上記以外のⒸは剥がさない）

※体育館入口の★ペットの飼育と☆土足禁止については剥がさないこと

作業が完了したらリーダー、サブリーダーも避難所で受付をして避難所に入ってください

避難所に入ったら手順書N○7を読んで作業をしてください

①避難所開設しました

こちらは
一ノ宮小学校です
体育館を避難所として
開設しました

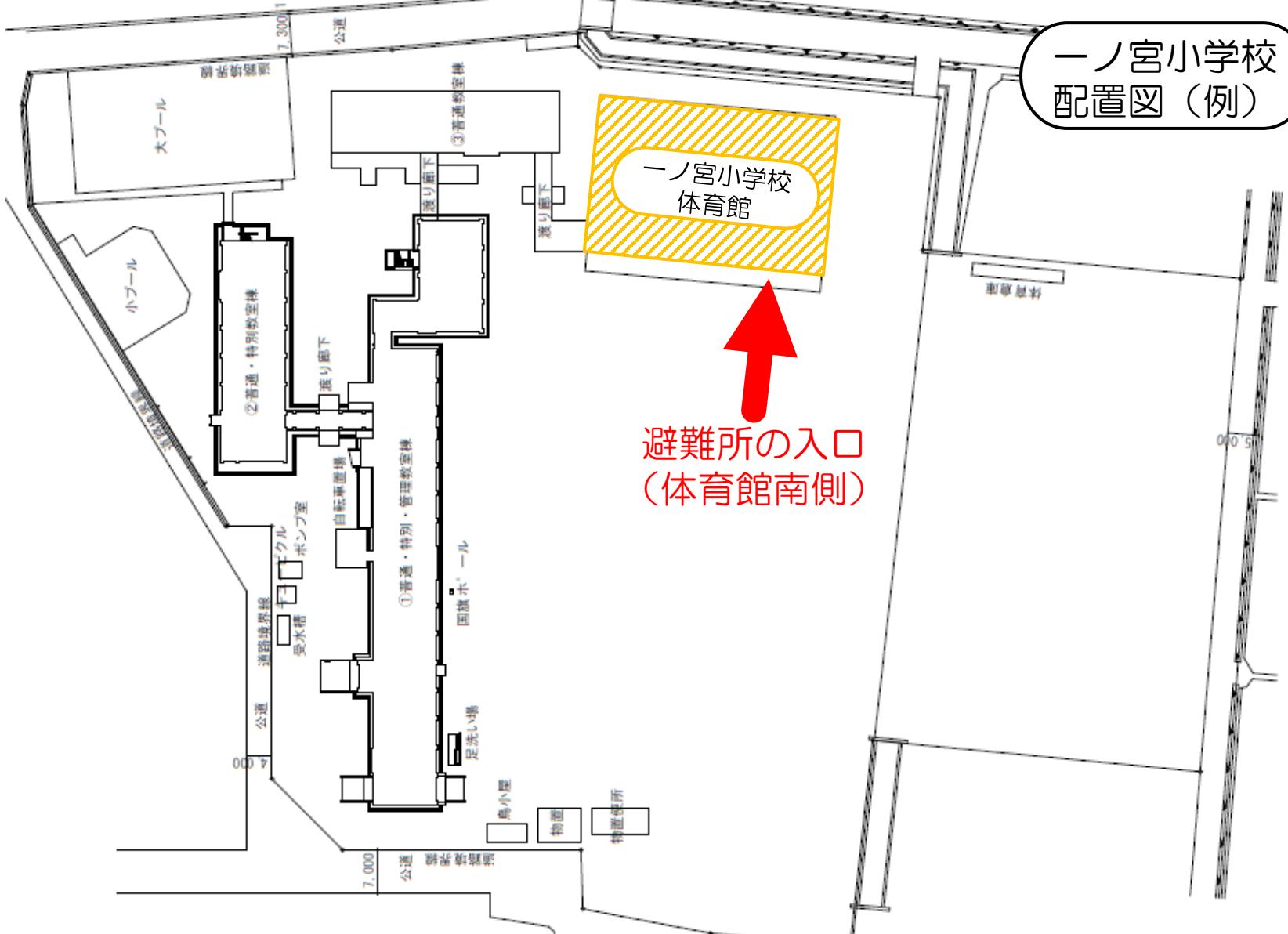
体育館では避難者の
受付をしています
必ず受付をしてから
入ってください
ご協力をお願いします

②避難所運営への協力

避難者が主体で避難所
を運営しています

避難者の方は避難所の
運営にご協力ください

一ノ宮小学校
配置図（例）



避難所の入口
(体育館南側)

避難所の受入完了

避難所に集まった避難者が、ある程度体育館に入ったら
受付、誘導、区割の人も受付をします

下記の流れで進めてください

避難者の受入が落ち着いた 区割が終わった



誘導、区割の人は受付に集合してもらう



受付、誘導、区割の人は受付をする
(避難者リストと避難者カードを記入する)

※受付（Bチーム）は総務班という避難所の組織が
受付の引継ぎに来るまでしばらく受付を続けます
（注）避難所の組織は今から（手順書No8）立ち上げます

※BチームはAチームから手順書を引き継ぎ、
受付でAチームの業務も併せて行ってください

受付、誘導、区割の人が避難者リストと避難者カードを
書き終えたら**手順書No8を読んで**作業をしてください

避難所運営組織

これから避難所運営を始めます
その避難所運営をするための班を今から決めます。
この手順書の作業はリーダーとサブリーダーで行ってください

- ①この時点でケガ人や停電等の即対応が必要な案件は手順書を無視して優先的に作業してください
- ②避難所内にいる避難者全員をステージ前に集める
(要援護者等で避難所内での作業が難しい方は除く)
- ③今からこの避難所をみんなで運営していくために
“組織を立ち上げる”ことを伝える
- ④避難所を開設するには「本部班」「総務班」「救護班」「物資班」「管理班」の5種類の班があることを伝える
- ⑤「本部班」は避難所運営の中心となる班
「総務班」は避難所内の避難者に関する班
「救護班」は避難者の救護に関する班
「物資班」は必要な物資や届く物資に関する班
「管理班」は避難所の施設・設備に関する班

⑥この班を引き受けてくれる避難者を決める
「本部班」5人以上、「総務班」5人以上、「救護班」5人以上、「物資班」5人以上、「管理班」5人以上
※人数は目安です。集まった人に応じて、多くの避難者に
なにかしらの班をお願いしてください

決まったらそれぞれの班に分かれて集合させる

- ・リーダー、サブリーダーがどこかの班に入っても大丈夫です
- ・どの班に所属していない避難者は所定の避難場所スペースに戻ってもらっても大丈夫です。

⑦各班で班長、副班長を決めてください

⑧リーダーはオリーブボックス内にある「本部班」「総務班」「救護班」「物資班」「管理班」の
ケースを各班長に渡す

⑨各班はそれぞれのケースの内容を読み、各班が行う
避難所運営の業務を把握してもらう

⑩これからは本部班がこの避難所を指揮します

リーダー、サブリーダーのお仕事はこれで完了です。
着ているビブスを脱いで、本部班の班長・副班長に
ビブスを引き継いでください

⑩各班がそれぞれのケースを内容を読み終えたら、
本部班が第1回避難所運営委員会という避難所の
決め事や情報共有を行う委員会を開催します
それまで各班はケースの内容を読み、各作業を進め
てください

オリーブボックス（開設編）まとめ

- ▶ オリーブボックスに入っているマニュアルどおりに進めること。
- ▶ ケガ人等には臨機応変な対応を。
- ▶ リーダーは作業の指示をする、サブリーダーは作業の報告を受ける。
- ▶ メンバーは、避難者から5～6人を集める。
- ▶ 指示があるまでは建物に入らない！資機材に触らない！

おわりに

大規模災害時には、その被害の大きさから、公助が届くにはどうしても時間がかかります。

そのため、普段から自助・共助の仕組みを整えておくことが、自らの命を守ることにつながります。

避難所の開設・運営を我が事として、訓練等を通じて確認をしておきましょう。

